

年度	H 27
重点プラン名	
① 観光誘客推進プラン	

主務課	観光振興課				
主に関係する課					

資料1

重点プランの方針と目標	
重点プランによりもたらされる効果	四季と観光資源を結びつけること及び四季を意識した情報発信により、季節ごとに来訪してもらえようになり、リピーターの増加につながる。 観光客に本市をより深く知っていただくことで長野ファンが増え、テーマ型観光は「ファン」の増加及びプランド化された地域と善光寺を結びつけ、ゆっくりした観光（スローツーリズム）を楽しめる。

プランの実現に向けた個別施策

施策名(担当課)	事業概要	前年度までの実施状況	今年度実施予定の主な内容	主たる関係予算の状況
(観光振興課)	地域に存在する様々な観光資源と善光寺を結びつけ、「観光入込客数」や「市内宿泊客数」を増やし、潜在時間を延ばすことで「観光消費額」を増加させ、地域経済の活性化を図るために、毎年度テーマを定めて全市横断的なキャンペーンを実施し、集客力の向上とリピーターの増加を目指す。	「善光寺表参道」キャンペーンを実施。 ○「ながのファンくらぶ」会員数：2,731人 (H27.3.31現在、協賛施設数：107件) ○「四季の彩りやおやすみプラン」の実施 全2回、応募数：434件 ○「善光寺表参道おさんぽクイズラリー」の実施 全3コース、景品交換数：1,156人 ○「ナガノおさんぽカメラ」開催による情報発信 全4回、応募点数：159点 ○「長野市内まわらばるき企画」の実施 善光寺表参道さんぽ (全9回、51人)、善光寺七福神めぐり (全6回、88人)、新春特別企画善光寺七福神めぐり (全14回、204人) ほか。 ○「ながの市探検隊」の開催 善光寺もんぜん探検隊 (全9回、105人)、信州まつしる城下町歴史さんぽ (全9回、98人) ○ほかパンフレット作成、特設サイト、飲食店メニュー一冊訳支援、善光寺表参道食べ歩きマップ、着地型観光商品販売サイト記事掲載	「善光寺表参道」及びながの「祈りの朝・宵の宴」をキャンペーンテーマとして展開する。 ○平成27年度前半まで、新幹線延伸開業や善光寺御開帳開催に併せ、善光寺表参道景観を中心とする集中キャンペーン実施 ・善光寺本堂及び回廊ライトアップ、戸隠行きライトバス運行、臨時観光案内所運営、善光寺御開帳アンケート実施 ○善光寺御開帳終了後、本市への再訪促進・滞在時間延長及び宿泊につなげるため、住民と連携し、観光客を周遊させる体験型の仕組みを構築。「自然・歴史・体感さんぽながの」の展開 ガイド付きさんぽ、食農体験、御朱印・スタンプラリー・クイズラリー、ながの稼働カフェ ・「善光寺・戸隠の宿坊での情報発信」 ○パンフレット・ポスターによる広報・宣伝 ○キャンペーン特設サイトによる情報発信 ○各種観光キャンペーンへの出席等 ○市善光寺表参道ガイド協会との連携	事業名 新1200万人観光交流推進事業補助金 ※国経済対策前倒 56,453千円 今年度予算額 4,000千円 前年度決算額 66,300千円

重点プランの指標項目	単位	23末現在	24実績	25実績	26実績	27実績	28実績	達成率	28末目標
① 観光入込客数 (年間)	万人	1,003	1,007	1,008	986	986	986	82.2%	1,200
① 市内宿泊客数 (年間)	万人	185	220	216	216	214	214	97.3%	220
① 観光消費額 (年間)	億円	409	431	429	422	422	422	86.1%	490

(2) 次期長野市観光振興計画の策定について

1 経 過

現行の「新1200万人観光交流推進プラン」は「第四次長野市総合計画」及び「長野市産業振興ビジョン」を上位計画と位置付け、策定期間についても両計画に合わせ、平成24年度から28年度までの5ヶ年計画として策定された。

次期観光振興計画においても、計画期間を上位計画と同一（平成29年度～33年度）にすることにより、更なる緊密な連携を図り、同時に両計画における観光部門の具体的な方向性を示すアクションプランの位置付けとする。

2 次期長野市観光振興計画の策定の流れ

- (1) 現況調査業務及び総合的支援業務について、受託する事業者をプロポーザル方式により公募
 - ・公募型プロポーザルHP公示 平成27年6月24日（水）
 - ・参加業者申請提出期限 平成27年7月21日（火）
- (2) プロポーザルに応募した事業者の中から、選定委員会により選定された事業者と契約し、今年度中に計画の素案までを作成
- (3) 作成された素案については、平成28年度中に総合計画との整合性を図った上で、次期長野市観光振興計画を策定し、平成29年度から運用

3 策定業務内容

◆平成27年度

- ・現行プランの評価
- ・現状把握調査 ギャップ調査、動態調査（位置情報分析）等
- ・観光事業者への意識調査
- ・現状把握調査報告書作成
- ・庁外・庁内ワーキンググループによるワークショップの開催（庁外は市民、観光団体、観光事業者等で構成）
- ・現状把握調査結果の検証、ワークショップの成果検証
- ・計画素案作成

◆平成28年度

- ・観光振興専門分科会、庁内ワーキンググループにより計画素案を修正
- ・計画策定

4 策定ポイント

- (1) 現行計画での評価（課題、改善点等）を踏まえた上で、現状把握調査の分析結果を重視した観光客視点での施策内容
- (2) 現行計画でのテーマ別キャンペーンに代わるものとして、長野市モデルと言える斬新かつ実現可能な計画

- (3) 地域経済活性化に結び付くような具体的施策を掲げたアクションプラン
- (4) 滞在型観光の推進とリピーターの確保
- (5) 現在の数値目標である観光入込客数に加え、経済波及効果につながる数値目標を設定するなど、数値目標の充実（「量」から「質」への転換）
- (6) 新たな観光資源の発掘と既存資源の磨き上げ（観光施設のあり方含）
- (7) 台湾、タイを中心としたアセアン諸国と併せ、冬期間スキーに訪れているオーストラリア人などを対象としたインバウンドの推進

5 計画の構成

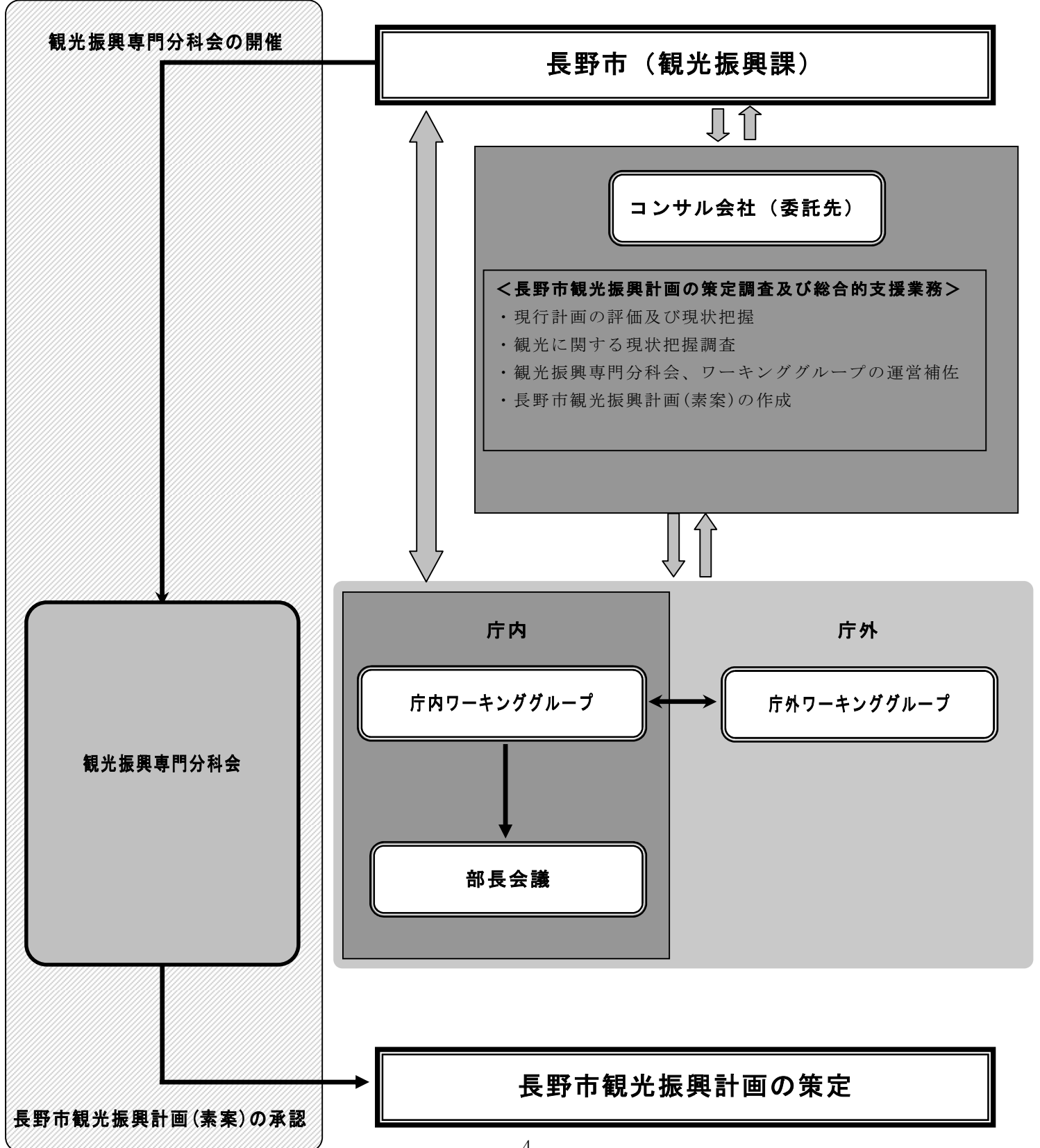
- ・長野市観光の現状と課題（現行計画の総括含）
- ・理想とする観光のあり方、基本目標
- ・展開する施策・事業（主体、スケジュール、期待される効果、その他）
- ・計画の推進体制（地域との連携など）

6 策定に係る組織

- ・審議会観光振興専門分科会
- ・庁内ワーキンググループ
- ・庁外ワーキンググループ

長野市観光振興計画策定業務の流れ（フロー図）

産業振興審議会観光振興専門分科会



長野市観光振興計画策定スケジュール

日 程	計画策定作業		庁外調整（分科会等）	庁内調整
(H27) 6 月				
7 月	委託先選定、委託契約		専門分科会(1)	
8 月	課題の整理	現状調査		
9 月		↓	庁外ワークショップ [°] 参加者公募	
10月		↓		
11月		調査報告書		
12月		↓	庁外ワークショップ [°]	庁外ワークショップ(1)
1 月	施策の検討	↓	庁外ワークショップ(2)	
2 月		↓	専門分科会(2)	庁内ワークショップ [°] (1)
3 月	計画素案作成	↓	庁外ワークショップ(3)	庁内ワークショップ [°] (2)
(H28) 4 月				
5 月				庁内ワークショップ [°] (3)
6 月			専門分科会(3)	庁内ワークショップ [°] (4)
7 月				
8 月			部長会議・議会会派説明	
9 月		↓	パブリックコメント	
10月	計画策定		部長会議	
11月				
12月				
1 月				
2 月				
3 月				

< 業者選定スケジュール >

- ① 公募型プロポーザルHP公示
平成27年6月24日（水）
- ② 業者質問締切り
平成27年7月7日（火）
- ② 参加業者申請提出期限
平成27年7月21日（火）
- ③ 審査結果通知
平成27年7月31日（金）予定
- ④ 業務委託契約
平成27年7月末～8月当初

産業振興ビジョンと第五次長野市総合計画について

1 産業振興ビジョンについて

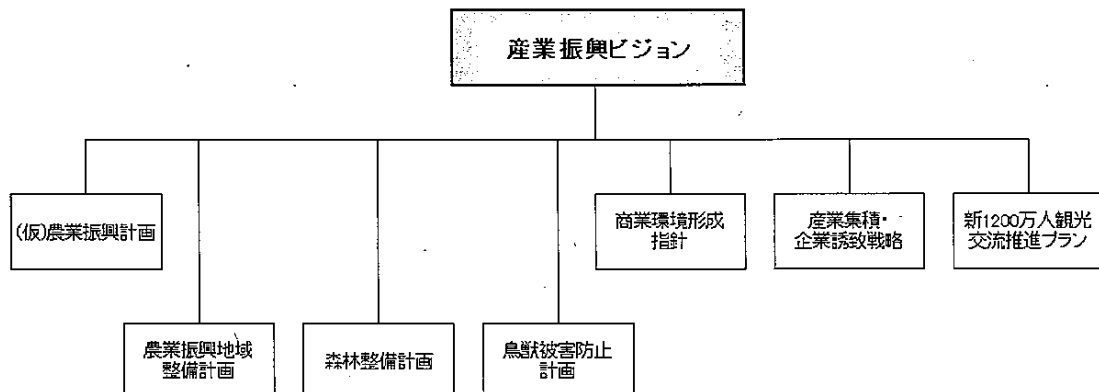
産業振興ビジョンは、平成19年度を初年度とし平成28年度を目標年度とする基本構想と、平成24～28年度の後期振興計画とで構成されています。本ビジョンは、産業振興の方向性及び産業横断的な連携策を、重点プランの抽出により、具体的な戦略として示しています。

産業振興ビジョンの目標年度は、平成28年度であることから、平成29年度を初年度とする上位計画の第五次総合計画と、「まち・ひと・しごと創生」の好循環を生み出す重要分野であるしごとづくりが位置付けられる総合戦略の策定を見据えながら、産業振興ビジョンのあり方について、検討を進める必要があります。

【産業振興ビジョンの検討における方向性について】

- A 新たな産業振興ビジョンを策定する。
- ・本市として、産業振興の方向性を示す必要がある。
 - ・本市として、産業を横断的に捉え、施策を行う必要がある。
- B 総合計画が横断的かつ総合的な方向を示すものであることから産業振興ビジョンは策定せず、産業振興に係る各分野の計画等の充実を図る。
- ・産業振興ビジョンに示す内容は、総合計画に示されている。
 - ・策定の努力義務のある総合戦略には、安定した雇用の創出等があげられており、その内容は、産業振興に代わるものと言える。
 - ・今求められるものは、より具体的な施策や事業である。

産業振興ビジョンに係る各分野の計画等



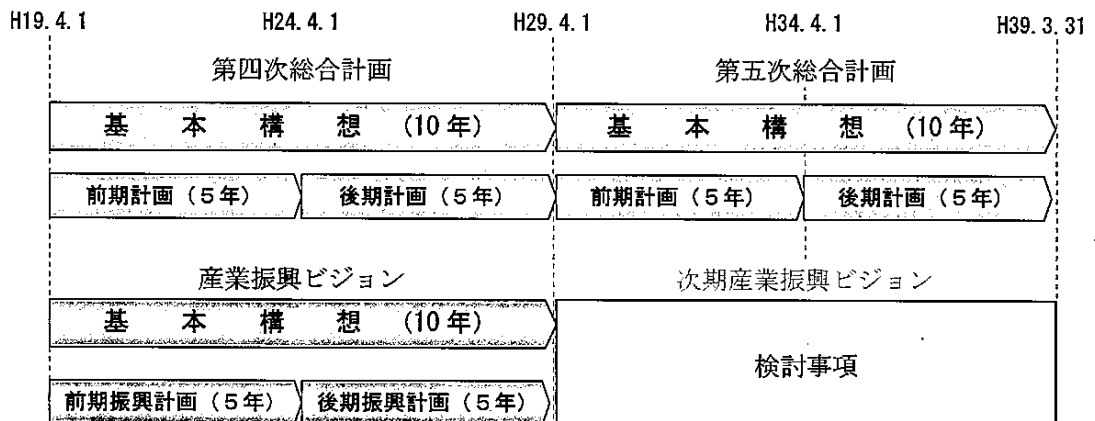
2 次期総合計画について

第四次長野市総合計画は、平成19年度を初年度とし平成28年度を目標年度とする基本構想と、平成24～28年度までの後期基本計画とで構成されています。

第五次長野市総合計画は第四次総合計画に代わる新たな計画として、平成29～38年度までのまちづくりの指針となる最も重要な計画となります。個別計画とは、情報交換、情報共有を十分に行いつつ整合性と体系化を目指すものとしています。

なお、策定の努力義務がある「総合戦略」は、第五次長野市総合計画に包含されることを前提に歩調を合わせながら、雇用創出や人や企業の移住・移転等を柱とした計画を策定することとしています。

総合計画と産業振興ビジョンの構成と期間



(3) 善光寺御開帳に伴う観光施策について（報告）

ア 長野市観光情報センター「おいでなしてNAGANO」について

1 施設の概要

事 項	説 明
所 在 地	長野市大字栗田字北河原1038の4（JR長野駅東西自由通路）
面 積	166.18㎡（平成27年2月増床 111.0㎡→166.18㎡）
取得価格	140,312千円
再整備費用	124,543千円（平成27年2月）
設 置 者	長 野 市
運 営	（公財）ながの観光コンベンションビューロー、北信濃観光連盟、 （一社）長野県観光協会
開設時期	平成8年6月22日（長野駅改築に伴い移転）
休 館 日	年中無休
開館時間	4月～10月は、8：00～19：00 ※1 11月～3月は、9：00～18：00 ※2
情報案内 状況	（特）国際観光振興会（現 独立行政法人 国際観光振興機構）から「i案内所」の指定を受ける（平成12年12月19日付）。現在は「デジタル・ジャパン案内所」に変更となる（平成19年4月1日付）。案内エリアは、東北中信エリア。なお、これらの区域以外の情報については、可能な範囲で案内。
対応言語	日本語及び英語
設置機器等	インターネット検索用パソコン、140インチLEDビジョン（デジタルサイネージ）、55インチ液晶テレビ

平成27年度版 長野市の観光概要より

※1 リニューアルオープン後、平成27年度から開始時間を1時間早めると共に、終了時間を1時間延長

※2 リニューアルオープン前と同じ



受付カウンターと待合スペース



ギャラリー



デジタルサイネージ（自由通路）

2 利用状況

- ◆平成27年2月から平成27年5月までの長野市観光情報センターの利用者と、平成26年の同時期との比較

	来訪者(人)			前年比 (%)	前年	来訪者(人)		
	日本人	外国人	合計			日本人	外国人	合計
H27年2月	14,673	4,284	18,957	169.7%	H26年2月	7,252	3,921	11,173
H27年3月	24,598	2,639	27,237	268.5%	H26年3月	8,204	1,941	10,145
H27年4月	24,171	2,254	26,425	249.6%	H26年4月	8,545	2,043	10,588
H27年5月	35,484	1,008	36,492	310.8%	H26年5月	10,730	1,012	11,742

※平成27年2月10日に仮オープン、2月20日にフルオープン（隣のバックスコーヒーと接続）

- ◆平成21年4月から5月までの利用者との比較

今回	来訪者(人)			前回比 (%)	前回	来訪者(人)		
	日本人	外国人	合計			日本人	外国人	合計
H27年4月	24,171	2,254	26,425	205.5%	H21年4月	11,342	1,519	12,861
H27年5月	35,484	1,008	36,492	174.0%	H21年5月	20,166	806	20,972

イ TOiGO臨時観光案内所の運営について

1 施設の概要

事 項	説 明
所 在 地	長野市大字鶴賀問御所町1271-3 TOiGO WEST 1階
運 営 主 体	ながの「四季の彩り」キャンペーン実行委員会 ((公財)ながの観光コンベンションビューロー)
勤 務 体 制	(公財)ながの観光コンベンションビューロー、長野市観光振興課、(一社)長野県観光協会、長野県観光部の協同により、4人体制で運営
開 設 時 期	平成27年3月14日から5月31日まで、期間中毎日開設(北陸新幹線延伸開業日～御開帳終了日)
開 館 時 間	9:00～16:00
案 内 状 況	○御開帳関連、長野市の観光地、周辺市町村の観光地、交通手段等の問い合わせに対し対応 ○各種パンフレット、マップ等を配置(外国語対応を含む)
設 置 機 器 等	インターネット検索性パソコン、39インチ液晶テレビ(善光寺回向柱のライブ映像をPC経由で放映)、タブレット型PC(多言語翻訳、説明用)、ファックス兼用電話×1、固定電話×1、

2 開設期間中の利用状況

	来訪者(人)		
	利用者	うち外国人	1日平均
H27年3月	768	45	43
H27年4月	2,252	128	75
H27年5月	3,932	95	127
合 計	6,952	268	88

※3月は14日から31日までの18日間



入 口



カ ウ ン タ ー

ウ ウェルカム長野実行委員会による取り組みについて

1 善光寺御開帳2015 日本一の門前町大縁日

善光寺御開帳にお越しになられた善男善女の皆様を、門前町ならではの「縁日」をテーマにした多彩な催事でおもてなしを実施。

2 概要

- (1) 事業費（予算） 267,438千円
- (2) 実施期間 平成27年3月29日（日）から5月31日（日）まで
- (3) 実施場所 「表参道会場」 中央通り（歩行者天国9日間）
「イベント会場」 セントラルスクウェア、トイゴ広場、
駅前会場
- (4) 出演者・参加者 約350団体、15,000人
- (5) ボランティア・応援市職員
一般ボランティア：296人、職員：233人 合計529人



セントラルスクウェア



TOiGO広場

3 実施事業

- (1) おもてなし空間の演出（長野駅善光寺口、中央通り等）
 - 幔幕、提灯、バナー
 - 花鉢等による装飾
 - 日傘、テーブル、イスの設置
- (2) おもてなし環境の充実
 - まちかど案内ボランティア
 - 既存店舗等のトイレの提供
 - 足湯、野点コーナーの設置（期間中毎日）
 - 生け花展示、地域紹介パネル展、ながの昔の写真パネル展、ながの百景パネル展、まちかど健康チェック
- (3) にぎわいイベントの実施（主な事業）
 - 主催企画 - 「伝統」と「新しい文化」の融合と発信を図る。
 - ア 伝統文化 神輿祭り、神楽囃子、和太鼓
 - イ 芸能・音楽披露 表参道芸術音楽祭、トワイライトステージ（一般市民、

	プロゲスト)
ウ 踊り披露	地域の文化芸能、信州三大市民祭り、NAGANO善光寺よさこい
エ 語り	活弁士による善光寺縁起、門前文化談義
オ 芸術・文化	ライブペインティング、門前俳句会、生け花、盆栽、落語、書道パフォーマンス
カ 市民参加	地域の物販、一校一芸
キ 広域連携	北陸フェア（上越市、金沢市、富山市） 集客プロモーションパートナー都市（静岡市） 信州国宝パネル展（松本市、上田市、茅野市、大町市、青木村）、善光寺街道ウルトラオリエンテーリング（松本市）、御柱曳航体験（茅野市、下諏訪町）、震災復興支援展（塩竈市）、県内自治体関係等

(4) 既存イベントとの連携

- ・花回廊（5/2～5） ・まちなか市場 ・門前まち花遊歩 ・ワインガーデン
- ・門前ジャズストリート ・GET INVOLVED ・移・職・住フェア
- ・交通安全フェア



中央通り歩行者天国



NAGANO善光寺よさこい



昭和の名車・旧車の集い

エ 善光寺本堂・回向柱ライトアップについて

1 概要

(1) 目的

回向柱及び善光寺本堂を夜間ライトアップすることにより、日中だけでなく夜間の参拝が可能になり、参拝客が日中の混雑を避け、心静かに参拝できるようにする

(2) 実施主体

■（公財）ながの観光コンベンションビューロー、善光寺御開帳奉賛会、善光寺が企画

■（公財）ながの観光コンベンションビューロー、善光寺御開帳奉賛会が設置

■善光寺はライトアップの電力を負担、外陣参拝の時間延長を実施

(3) 期間及び時間

御開帳期間中毎日、日没から午後9時まで

※御開帳終了後、6月30日まで回向柱ライトアップのみ期間を延長して実施

(4) 広報

御開帳の開始前の新聞への記事掲載や、御開帳奉賛会公式HPにおける広報を行う

(5) 関連事項

お守り等の授与所の営業時間及び善光寺境内の臨時観光案内所（御開帳奉賛会が設置）の開設時間について、ライトアップの時間に合わせる

2 効果

■混雑を避ける地元の参拝客や、宿泊を伴う観光客が夜間に訪れ参拝

■仲見世通りの店舗の一部が、営業時間を延長して営業



本堂・回向柱ライトアップ



内陣（びんずる尊者前）



仲見世通り

オ 御開帳期間中の表参道ガイド協会の活動状況について

1 実施期間

平成27年4月1日から5月30日まで

※4月25日と5月9日の中日庭儀大法要の日を除く

2 ガイドコースと案内客数

(1) 善光寺表参道回向柱めぐり

■善光寺参拝後コース：大勸進→世尊院（釈迦堂）→仁王門→西方寺→

パティオ大門→往生院→十念寺（→かるかや山西光寺）

■JR長野駅発コース：かるかや山西光寺→十念寺→往生院→パティオ大門→

西方寺→仁王門→世尊院（釈迦堂）→大勸進

※JR長野駅発コースは、観光客からの希望により5月18日から実施

■特典として信州みそ200g付き

■案内客数：756人（うち予約285人）

(2) 善光寺表参道さんぽ

■コース：JR長野駅（観光情報センター）をスタートし、表参道を中心に

善光寺駒帰り橋まで案内

■案内客数：66人（うち予約30人）

(3) 善光寺七福神めぐり

■コース：善光寺七福神を巡るコース（約2時間）

■案内人数：145人（うち予約58人）

(4) 善光寺表参道桜さんぽ

■コース：JR長野駅（観光情報センター）→西光寺→足止めの桜（セントラ

ルスクエア脇）→パティオ大門→大門のしだれ桜→西の門よしの

や（酒蔵見学・試飲）

■案内時期：4月中旬（桜の開花時期）

■案内人数：10人（案内日数5日）

(5) 十念寺及び西方寺での定点案内（辻立ち）

■（公財）ながの観光コンベンションビューロー経由で依頼のあった観光会社の団体客対応

■案内人数：十念寺900人（4月5日～8日の4日間）

西方寺230人（4月5日～6日の2日間）

(6) ツアー客対応

■JR東日本「旅市」のガイド付きコースの参加者

■案内人数：835人

3 実績

(1) 案内客数：2,942人（1日平均53.5人）

(2) ガイド出勤延べ人数：617人（1日平均11.2人）

カ 二次交通の状況について

1 善光寺・戸隠神社 祈願ライナー

(1) 運行形態

- 戸隠神社式年大祭の開催に合わせ、善光寺・戸隠間を結ぶバスを運行
- (株)アリーナが予約受付、運行管理

(2) 運行期間

4月25日～5月31日の期間中毎日（1日善光寺発及び戸隠中社発各6便、5月2日～6日のみ7便）

(3) 運賃

大人1,000円、子供500円

(4) 運行状況

- 延べ乗車人数：1,323人
- 平均乗車人数：2.9人

2 妙高・黒姫・戸隠ライナー

(1) 運行形態

- 長野市、妙高市、信濃町、(一社)妙高市観光協会、(一社)信州しなの町エコツーリズム観光協会、(一社)戸隠観光協会ほかで構成する「妙高・黒姫・戸隠ライナー運行協議会」が運行
- 善光寺、戸隠、黒姫、妙高(赤倉、池の平)などの各観光地を経由して上越妙高駅・長野駅間を結ぶ予約制の乗合ワゴンタクシー
- 運行委託事業者として(株)観光販売システムズが募集型企画旅行として販売、予約受付

(2) 運行期間

御開帳期間中は毎日運行

※御開帳終了後、6月1日から7月20日まで及び9月1日から11月30日まで：土日祝日に運行、7月21日から8月31日まで：毎日運行

(3) 予約方法等

事前予約（電話予約は前日まで、ネット経由は5日前まで）、ジャンボタクシー車両が基本、最少催行人数1人～21人

(4) 運賃

大人1,000円～4,000円、子ども500円～2,500円（コース及び乗車区間により異なる）

※昼食（中社）又は地域観光施設で利用可能なクーポン付（妙高、黒姫、戸隠3地区内博物館、美術館ほか）を選択可

(5) 御開帳期間中の運行状況

- 述べ乗車人数：51人（稼働日数21日）
- 平均乗車人数：2人

キ 「松代マルシェ」の設置について

1 目的

御開帳時に運行されるシャトルバスの発着場所である松代殿町駐車場において、松代の案内ブース及び物販ブース、休憩所として、松代おもてなしブース「松代マルシェ」を設置することで、まち歩き観光の促進や松代の魅力を発信することにより、街中に観光客を誘導することで、地域経済の活性化につなげる。

2 概要

- 松代殿町駐車場に8坪のコンテナを設置し、松代の観光案内、まち歩きガイドの手配及び土産品の販売を実施
- 物販ブースとして、コンテナの横にテントを設置
- 設置期間は平成27年4月1日から5月31日まで

3 運営主体

松代観光推進機構、松代地区振興計画推進の会、松代文化財ボランティアの3者の共同により運営

4 費用

- コンテナ設置
⇒観光案内、誘客、情報発信に要する費用の支援として、市は費用の一部を負担
- 物販ブース
⇒全て地元負担



松代マルシェ

ク 渋滞対策について

1 善光寺及び市街地周辺交通渋滞対策部会（事務局：長野市交通政策課）による 主な取組み

※正式な結果については8月に開催される交通渋滞対策部会において公表予定

(1) インターネットによる情報発信

渋滞予想カレンダー、Webカメラの設置による道路状況の画像配信、渋滞予想マップ、公共交通情報・パークアンドライド情報の配信、中心市街地の民間等駐車場情報の配信等

(2) 公共交通の利用促進

ノーマイカーキャンペーンの周知、チラシ・ポスターの作成、市広報・新聞広告等への掲載、各機関・団体への協力要請、長野市バス共通ICカード「くるる」ポイントの加算付与、ホームページによる公共交通機関の利用促進

(3) パーク&バスライド・システム（シャトルバスの運行）

4月11日（土）～5月31日（日）の土、日、祝日（4月19日を除く）計19日間、市内4箇所（旧松代駅、真島、旧サンマリーンながの周辺、富士通(株)長野工場に臨時駐車場を設け、シャトルバスを運行

(4) パーク&レールライド用臨時駐車場の設置

4月5日（日）～5月31日（日）の土、日、祝日 計21日間、篠ノ井駅西側及び今井駅東側の2箇所に臨時駐車場（駐車料金無料）を設け、鉄道による移動を促進

(5) 案内・誘導・表示看板の設置

パーク&ライド利用案内看板・誘導看板、中心市街地民間駐車場誘導看板、迷走車両の発生抑制、車両の分散化のための誘導・お知らせ看板、渋滞情報表示看板、交通規制のお知らせ看板等の設置

(6) チラシの配置

公共交通利用の促進、パーク&ライドの案内、民間駐車場の案内等のため、チラシを作成し、PA、SA、ICの料金所、道の駅等に配置又は信号待ち車両への配布等

(7) 交通情報等の発信（広報）

交通情報等のラジオ放送、新聞等への広告掲載、「広報ながの」掲載、交通情報板による広報、道路交通情報センターからの交通情報放送、VICISへのシャトルバス運行案内、交通情報の提供

(8) 中心市街地の民間駐車場の案内・誘導

民間駐車場を有効活用し、中心市街地に入った車の分散化

(9) 善光寺周辺臨時駐車場の設置

県庁通りの渋滞緩和のための応急措置的な位置づけとして、官公庁等の駐車場（長野県庁、長野法務総合庁舎、長野第一合同庁舎、長野地方裁判所、長野第二合同庁舎、信州大学教育学部）を借用し、臨時駐車場を設置

(10) 交通規制の実施

善光寺周辺道路の一方通行規制、規制地点での交通誘導員（警備員）を配置

(11) 各種調査

- パーク&バスライド臨時駐車場、パーク&レールライド臨時駐車場、善光寺周辺臨時駐車場の利用状況調査
- 交通量及び渋滞実態調査
- シャトルバス利用者に対するアンケート調査
- マイカー利用者、公共交通利用者アンケート調査

2 観光バスの誘導

(1) 目的

善光寺周辺での観光バスによる交通渋滞の発生の抑制及び観光客の街中への誘導

(2) 御開帳奉賛会による誘導（御開帳期間中の土日及びゴールデンウィーク期間中）

観光バスの臨時乗降場所として、国道406号線大門交差点西の西光寺付近（8台）を指定し、北陸信越運輸局長野運輸支局（西和田）の駐車場を観光バスの待避所として使用

(3) ウェルカム長野実行委員会による誘導（御開帳期間中の全日）

- 長野駅東口ユメリアバスパーク（6台）、長野大通り鍋屋田小学校隣（2台）、JA長野県ビル東側（4台）、長野県長野合同庁舎北第一駐車場（15台）を臨時乗降場所として指定
- 若里多目的広場（カネボウ跡地）、長野運動公園東臨時駐車場、真島臨時駐車場を日替わりで誘導し、観光バスの待避所として使用

(4) NHK大河ドラマ「真田丸」放映に向けた誘客対策について

1 概要

平成28年1月から、戦国武将の真田幸村（信繁）を主人公としたNHK大河ドラマ「真田丸」の放映が予定されており、幸村の兄である真田信之が松代藩真田十万石の礎を築いたことから、「真田丸ゆかりの地」としてへの松代への注目が高まり、観光客の増が見込まれるため、観光客の受け入れ態勢の整備、満足度の向上及び更なる誘客につなげる。加えて、松代と長野市内の観光地（善光寺、戸隠等）への誘客を組み合わせることにより、長野市内の滞留時間延長と宿泊者数の増加を目指す。

また、上田市を始めとした「真田丸ゆかりの地」との広域の連携を図ることにより、相互の誘客を目指す。

2 誘客対策（案）

タイトル：（仮）体感！！戦国の絆 松代“真田大博覧会”2016

⇒ 真田家の文化や生活を、真田宝物館、松代城跡、真田邸、文武学校の文化財を軸に体験してもらう

(1) 上田市との連携

松代と上田市との相互の連携（交通、展示 等）

(2) 真田宝物館

松代の「ゲートウェイ」として、真田家にまつわる貴重な資料等を展示

(3) 松代城跡

「松代藩真田十万石祭り」をメインとした各種イベントの「イベント体験ゾーン」

(4) 真田邸

衣食住をテーマとした体験メニューによる「生活体験ゾーン」

(5) 文武学校

真田家の文化をテーマとした体験メニューによる「文化体験ゾーン」

(6) 告知・PR

旅行会社への旅行商品の造成依頼とPR、各種媒体による告知、ガイドブック・チラシ等の作成・配布

(7) まちの装飾

統一感・一体感を持たせた案内看板、暖簾、のぼり旗等の設置

(8) まち歩き体験

松代の街中に点在する文化財を巡る「まち歩き」の開催、ギャラリートークや展覧会の開催

(5) インバウンド対策に係るフリーWi-Fiの整備について

1 目的

国内観光客は、スマートフォンやモバイル機器の普及により、旅先でのネット接続による情報収集が容易であるが、外国人観光客は、日本で特定の通信キャリアと契約しないことが多く、外国で一般的なフリーWi-Fi（公衆無線LAN）の環境を日本国内でも求めている。

外国人観光客が、観光の起点となる場所でフリーWi-Fiによるネット環境が利用でき、かつ訪れた地域の観光情報等の受信ができれば、利便性の向上と共に観光地を周遊する契機となり得る。

また、外国人観光客によるSNS等での観光情報の発信は、外国人観光客を呼び込む契機ともなる。

2 今年度の取り組み

(1) 市内民間宿泊施設及び交通事業者への設置補助

長野県観光部の「平成27年度外国人旅行者受入環境整備事業」を利用した、市内民間宿泊施設及び交通事業者に対するフリーWi-Fi環境整備費用への補助を実施。8月補正により対応。

(2) 長野駅周辺への設置

増加する外国人観光客の受入体制の整備の一環として、観光ハブ駅である長野駅の善光寺口及び東口への公衆無線LANの設置を検討。

3 現在の整備状況（参考）

平成24年9月から、（公財）ながの観光コンベンションビューローとNTT東日本が共同で、善光寺表参道をはじめとする中心市街地の民間事業者（善光寺表参道の店舗等）へのフリーWi-Fiステーション（光ステーション）の設置を推進している。現在の設置箇所は約140箇所。

接続（上限14日間）に必要なID・パスワードが記載されたカードを、外国人観光客に対して市内2箇所（長野市観光情報センター及び松代観光案内所）で配布し、誘客促進と利便性の向上を図っている。これを利用したWi-Fi接続率は全国トップクラス（NTT調べ）となっている。

<参考 統計資料>

■長野市における外国人宿泊者数（宿泊数、暦年）

23年	30,460人	県203,152人
24年	39,416人	県249,246人
25年	51,836人	県360,938人

23→25 +21,376人 +157,786人

※上位国 1位：台湾 2位：香港 3位：中国 4位：アメリカ

■観光情報センターへの外国人来客数（年度）

24年度	15,886人
25年度	19,805人
26年度	22,626人

(24→26 +6740人)

■観光情報センターでの「フリーWi-Fiカード」配布枚数（年度）

24年度	980枚（9月から7箇月間）
25年度	2,319枚
26年度	2,158枚

